



キッチン施工講習会

特集

LIXIL「住まいStudio」見学会

11月24日（金）

新宿のLIXILショールームの中にある新展示施設「住まいStudio」見学会に参加してきました。

2020年より住宅基準の規制が厳しくなり、「ZEH」や「低炭素住宅」での施工が義務化される中、エンドユーザーに断熱の重要性を身体で実感できる施設としてこの夏にオープンした新しい施設です。

完全予約制の施設で、今は申し込んでから2ヶ月待たないと入れないほど、人気の施設です。

一回の参加人数は6名ほどが一番分かりやすい人数だそうです。

温度管理の関係上、人数が多いと効果が分かりづらからとの理由でした。



LIXILの新宿ショールームの中にこの施設の入り口があります。ここから先は予約のない方は入れません。スペシャルな空間になります。



受付を通り過ぎると真っ白な空間が広がります。



冬の家 ブース

まずは「冬の家」ブースです。ここでは、「昔の家」、「現在の家」、「これからの家」の3つのモデルルームで断熱の違いを実感できるブースになっています。



外気温を0度に保ち、室内でエアコンを20度設定で稼働させ、その上で室内の温度を測ります。

「昔の家」「現在の家」「これからの家」でどれくらい体感温度が違うか？ 実際の温度が違うかを調べていきます。

比較できる展示



同じつくりの部屋で3つを比較すると断熱の重要性に気づかされます。「これからの家」は初期費用こそ高くなりますが、ランニングコストを考えると最終的には安くなることが分かります。また、目に見えない効果で体調を悪くするリスクも軽減できるそうです。医療費などを考えると「これからの家」が一番お得に見えてきます。



3つの部屋の温度状況がサーモ画像で見られます。

分かりやすい展示です。

4ヶ月の暖房代 昔の家は28,000円

これからの家は7,000円だそうです。



モデルルームの外は 温度が0度に設定してあります。分かりやすくいえば、巨大な冷蔵庫の中に3つのモデルルームを作った感じです。



冷蔵庫の外から見た感じですか。

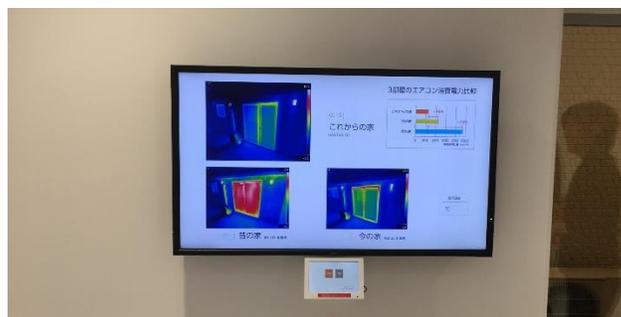


冷蔵庫の中はこんな感じです。



こちらからの窓からは 熱の逃げ道を 視覚で見ることが出来ます。

冬の住宅は 室内の暖気をいかに外に出さないかが重要だと 気付かされます。



3つの部屋の 壁断熱の見本です。
構造の違いが分かります。



夏の家 ブース

2つ目は夏のブースです

こちらは 夏の日ブースです。夏の家は いかにかからの暖気を家に入れれないかが重要です。



夏は 日差しが高いので、南の窓より 西の窓に対策を考えたほうが効果がありそうです。断熱はカーテンよりも 窓の外で「ひさし」や「ブラインド」で日差しをさえぎるほうが効果的です。

比較 ブース

最後は サッシのアルミと樹脂の比較コーナーです。



アルミは熱を通しやすく、樹脂は通しにくいことが 目と感覚で分かるコーナーです。



最後は隣接のショールームの見学が出来ます。



家の快適性は図面ではわかりませんが、
手で、足で確かめて、
肌で感じる事が大切です。

壁・窓の断熱性の違いを実感できるスタジオへ。

LIXIL 快適暮らし体験
住まいStudio.ni

01 Studio-冬-
昔の家、今の家、これからの家と断熱性能の違う3つの家をご用意。真冬を想定した環境で室内温度を比較体感していただけます。

02 Studio-夏-
真夏のリビングの日差しと室温を再現。南からの強い日差し、西日の照り込みを体感し、日差し対策を確認できます。

03 Studio-窓-
窓のフレーム素材やガラスの種類によって変わる断熱性を体感できるコーナー。サーモグラフで確認し、直接手で触れることで違いを体感できます。

これからの家 体験
今の家 体験
昔の家 体験
冬の屋外 体験

見学希望の方や 興味のある方は
弊社担当営業にご相談ください。